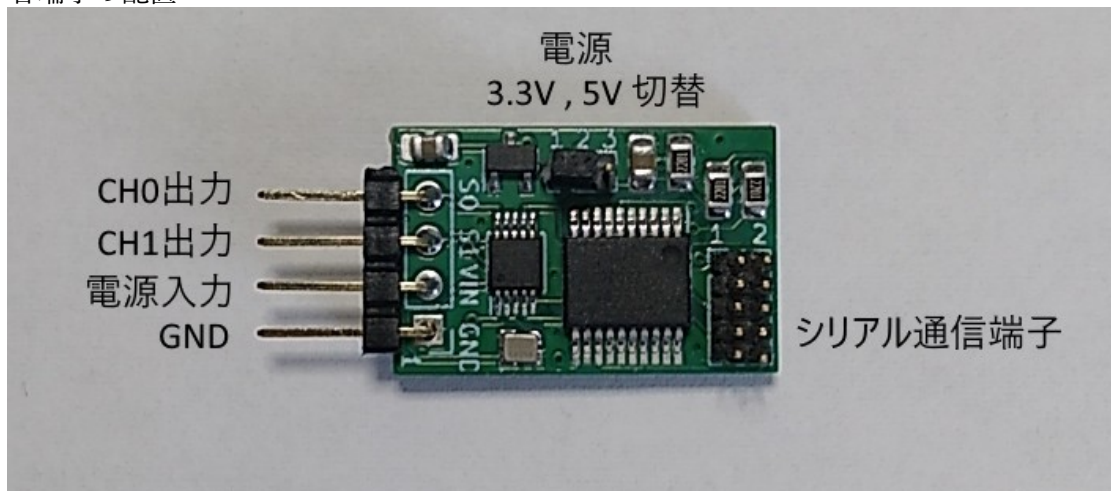


N-Si5351-MOD

各端子の配置



初期設定

初期の動作確認ため、初期周波数がセットされています。
適時書き換えてください。

CH0: 1MHz

CH1: 2MHz

電源切替

ジャンプスイッチ

3.3V : 1-2 ショート (3.3V 選択時は、必ず3.3Vを守ってください。)

5V : 2-3 ショート (5V 選択時は、9Vまで入力できます。)

出力

CH0: Si5351 のチャンネル 0

CH1: Si5351 のチャンネル 1

シリアル通信端子

RXD : 6 ピン (本ボードが受信)

TXD : 8 ピン (本ボードが送信)

GND: 4 ピン (グラウンド)

具体的な接続方法などは、ホームページに写真がありますので、ご覧ください。

<http://www.kida-elec.com/n-si5351-mod.html>

コマンド

- W : CH0 への周波数の書込み (スイープ発振の開始周波数にもなる)
- Y : CH1 への周波数の書込み
- F : CH0 への周波数の設定 (書込み無し)
- X : CH1 への周波数の設定 (書込み無し)

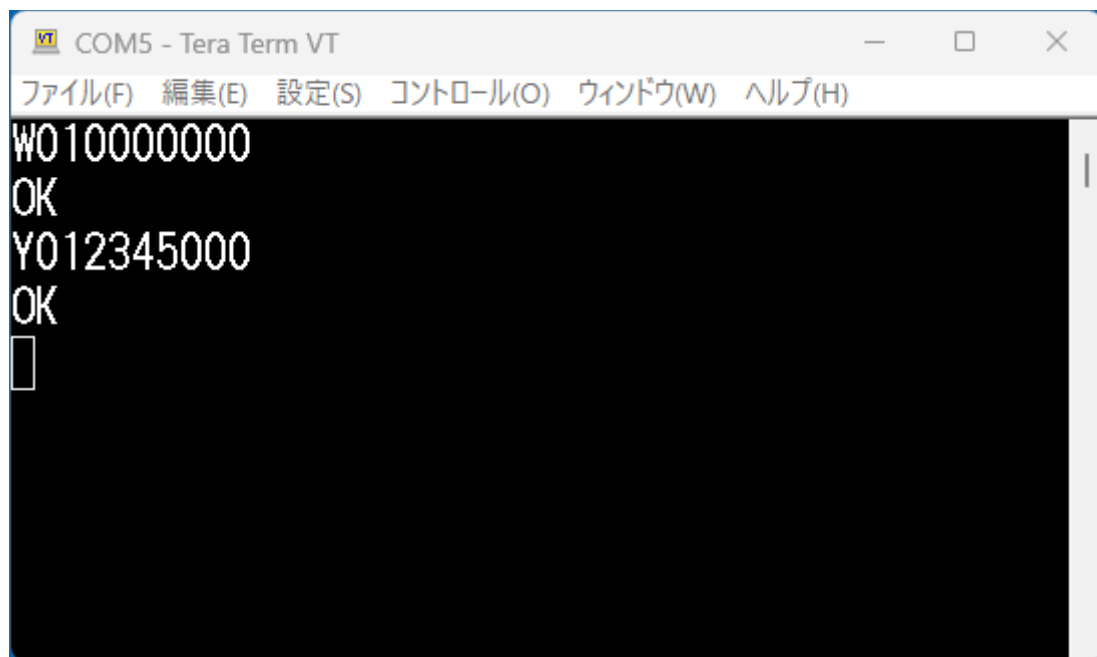
- H : CH0 へのスイープ終了周波数の書込み (開始周波数は、W コマンドにて設定)
- J : CH0 スイープステップ周波数の書込み
- L : CH0 スイープステップ時間の書込み (最小間隔は約 100ms です。)
スイープの ON/OFF は、ポートの Hi/Low で制御できます。
Low で On になり、繰り返します。

通信はパソコンのターミナルソフトで行います。

下図のようにコマンド+9桁の周波数で設定します。

通信条件 9600bps 8bit ノーパリティ

※ターミナルソフトのローカルエコーを ON にしてください。



The screenshot shows a terminal window titled "COM5 - Tera Term VT". The menu bar includes "ファイル(F)", "編集(E)", "設定(S)", "コントロール(O)", "ウィンドウ(W)", and "ヘルプ(H)". The terminal content shows the following sequence of text:

```
W010000000
OK
Y012345000
OK
█
```

N-Si5351-MOD			
	Reference	Qty	Value
1	C1, C2	2	10uF
2	IC1	1	PIC24F32KA301-I_SS
3	J2	1	Conn_02x05_Odd_Even
4	J3	1	Conn_01x04
5	J4	1	Conn_01x04
8	R1, R2, R3	3	2.2K
9	U1	1	MCP1792x-3302xCB
10	U2	1	Si5351A-B-GT
11	Y1	1	FA-128_25.0000MF10Z-AC3

